

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2001-318775 (P2001-318775A)
 【公開日】平成 13 年 11 月 16 日 (2001.11.16)
 【出願番号】特願 2000-139311 (P2000-139311)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 3/12

H 0 4 N 1/00

【F I】

G 0 6 F 3/12 C

H 0 4 N 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】印刷制御装置及び印刷制御方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のインターフェースおよび第 2 のインターフェースの送受信を制御する印刷制御装置であって、

前記第 1 のインターフェースからデバイス識別情報要求を受信したか判定する判定手段と、

前記判定手段により第 1 のインターフェースからデバイス識別情報の要求を受信したと判定した場合、前記第 1 のインターフェースに接続されたデバイスに対してデバイス識別情報を送信する送信手段と、

前記判定手段により第 1 のインターフェースからデバイス識別情報の要求を受信したと判定した場合、前記第 2 のインターフェースからの受信を行わず、前記第 1 のインターフェースからはデータを受信して印刷を行う占有状態にする制御手段を有することを特徴とする印刷制御装置。

【請求項 2】

前記第 1 と第 2 のインターフェースはセントロニクスインターフェースであることを特徴とする請求項 1 に記載の印刷制御装置。

【請求項 3】

前記第 1 のインターフェースからデバイス識別情報要求を受信した場合、前記制御手段は、前記第 2 のインターフェースからの受信を行わず、前記第 1 のインターフェースからはデータを受信して印刷を行う占有状態にし、前記印刷制御装置が前記占有状態となった後に、一定時間内に前記第 1 のインターフェースからデータを受信した場合、受信したデータの印刷を行い、印刷終了後、前記占有状態を解除することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の印刷制御装置。

【請求項 4】

前記制御手段は、前記占有状態となった後に、前記第 1 のインターフェースから一定の時間内にデータが受信されない場合、前記占有状態を解除することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の印刷制御装置。

【請求項 5】

第 1 のインターフェースおよび第 2 のインターフェースの送受信を制御する印刷制御方法であって、

前記第 1 のインターフェースからデバイス識別情報要求を受信したか判定する判定工程と、

前記判定工程により第 1 のインターフェースからデバイス識別情報の要求を受信したと判定した場合、前記第 1 のインターフェースに接続されたデバイスに対してデバイス識別情報を送信する送信工程と、

前記判定工程により第 1 のインターフェースからデバイス識別情報の要求を受信したと判定した場合、前記第 2 のインターフェースからの受信を行わず、前記第 1 のインターフェースからはデータを受信して印刷を行う占有状態にする制御工程を有することを特徴とする印刷制御方法。

【請求項 6】

前記第 1 と第 2 のインターフェースはセントロニクスインターフェースであることを特徴とする請求項 5 に記載の印刷制御方法。

【請求項 7】

前記第 1 のインターフェースからデバイス識別情報要求を受信した場合、前記制御工程では、前記第 2 のインターフェースからの受信を行わず、前記第 1 のインターフェースからはデータを受信して印刷を行う占有状態にし、前記占有状態となった後に、一定時間内に前記第 1 のインターフェースからデータを受信した場合、受信したデータの印刷を行い、印刷終了後、前記占有状態を解除することを特徴とする請求項 5 または 6 に記載の印刷制御方法。

【請求項 8】

前記制御工程では、前記占有状態となった後に、前記第 1 のインターフェースから一定の時間内にデータが受信されない場合、前記占有状態を解除することを特徴とする請求項 5 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の印刷制御方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、複数のインターフェースの送受信を制御する印刷制御装置及び印刷制御方法に関するものである。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

そこで本発明の課題は、複数のインターフェースの送受信を制御する印刷制御装置及び印刷制御方法において、デバイス ID 要求に対して適切に対処して、上述のような問題を防止し、印刷システムの信頼性を向上できるようにすることにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

【課題を解決するための手段】

上記の課題を解決するため、本発明によれば、

第 1 のインターフェースおよび第 2 のインターフェースの送受信を制御する印刷制御装置であって、

前記第 1 のインターフェースからデバイス識別情報要求を受信したか判定する判定手段と、

前記判定手段により第 1 のインターフェースからデバイス識別情報の要求を受信したと判定した場合、前記第 1 のインターフェースに接続されたデバイスに対してデバイス識別情報を送信する送信手段と、

前記判定手段により第 1 のインターフェースからデバイス識別情報の要求を受信したと判定した場合、前記第 2 のインターフェースからの受信を行わず、前記第 1 のインターフェースからはデータを受信して印刷を行う占有状態にする制御手段を有することを特徴とする。

また、上記印刷制御装置の構成に対応する印刷制御方法の構成を特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 3 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 3 7 】

【発明の効果】

本願発明により、デバイス識別情報の要求があった一方のインターフェースを占有状態とすることで、例えば一方のインターフェースを用いてデバイス識別情報の要求を行ってから印刷データを送信するまでの間に、他方のインターフェースを用いて印刷データが送信されることにより、デバイス識別情報の要求を行った一方のインターフェースを用いて印刷データを送信することができなくなるといった不具合を解消することが可能となる。